

# 新郷村の概況

## 合併協議の状況等

### 1 旧法下における合併協議の状況

五戸町、倉石村と3町村による「五戸地方合併協議会」(任意の合併協議会)を設置(平成13年6月1日)。8回の合併協議会を開催し、合併した場合の地域将来構想を策定するなどしていたが、3町村長の合意により、合併協議会を解散(平成14年10月31日)。

五戸町と倉石村は、「五戸町・倉石村合併協議会」(法定の合併協議会)を設置。(平成14年12月1日付け)

八戸市、田子町、名川町、南部町、階上町、福地村、南郷村と8市町村による「八戸地域合併協議会」(法定の合併協議会)を設置(平成15年4月1日)。8回の合併協議会を開催し、各種事務事業の調整等を進めていたが、階上町の離脱を受けて合併協議会を廃止(平成16年6月30日付け)。

### 2 市町村合併の推進に関する構想策定に係る調査結果(H17.11~12実施)

項目	回答内容
主要事業	事業内容 農業振興と有機の里づくり。特色ある安全安心の農産物の生産。 町村合併(五戸町)の環境づくりと合併実現。 温泉経営及び公社経営の安定化。 遊休地の有効活用推進。
行政課題	課題 農業の担い手の育成・確保・農産物の価格安定。 国道454号通年運行と産業の活性化。 行財政改革の推進又、医療機器の充実。 対応策 農業後継者育成。 医療機器等は過疎債で対応。
合併の必要性	必要性~今後必要 時期~速やかに 対象範囲~生活圏のつながりの深い近隣同士

### 3 合併に係る最近の動向(H18.4~)

新郷村が市町村合併に係る地域住民懇談会を開催(4/24・25・27・28、村内4地区)

五戸町商工会と新郷村商工会が「商工会合併検討委員会」を設置(4/20)

新郷村が市町村合併に係る住民アンケートを実施予定(5月中旬、20歳以上の全村民)

## 新郷村及び近隣市町村(五戸町、三戸町、十和田市、南部町、田子町)の概況

### 1 地域の沿革

#### 〔新郷村〕

明治22年市制町村制施行当時の名称	明治	大正	昭和元年～昭和28.9.30	昭28.10.1(町村合併促進法施行時)の名称	昭28.10.2～平18.3.31	現在の名称
戸来村				戸来村	新郷村 (30.7.29) 大字手倉橋五戸町に編入 (30.7.29)	新郷村
野沢村				野沢村		

#### 〔五戸町〕

明治22年市制町村制施行当時の名称	明治	大正	昭和元年～昭和28.9.30	昭28.10.1(町村合併促進法施行時)の名称	昭28.10.2～平18.3.31	現在の名称
五戸村		五戸町 (4.11.1)		五戸町	五戸町 (30.7.1) 野沢村大字手倉橋編入 (30.7.29) 五戸町に編入 (H16.7.1)	五戸町
川内村			川内村			
浅田村			浅田村			
倉石村			倉石村			

#### 〔三戸町〕

明治22年市制町村制施行当時の名称	明治	大正	昭和元年～昭和28.9.30	昭28.10.1(町村合併促進法施行時)の名称	昭28.10.2～平18.3.31	現在の名称
三戸町				三戸町	三戸町 (30.3.20)	三戸町
留崎村				留崎村		
斗川村				斗川村		
猿辺村				猿辺村		

**【十和田市】**

明治22年市制町村制施行当時の名称	明治	大正	昭和元年～昭和28.9.30	昭和28.10.1（町村合併促進法施行時）の名称	昭和28.10.2～平18.3.31	現在の名称
三本木村	三本木町 (43.9.1)			三本木村		十和田市 (H17.1.1)
大深内村			大深内村			
藤坂村			藤坂村			
四和村			四和村			
法奥沢村			十和田村 (6.9.7)			

**【南部町】**

明治22年市制町村制施行当時の名称	明治	大正	昭和元年～昭和28.9.30	昭和28.10.1（町村合併促進法施行時）の名称	昭和28.10.2～平18.3.31	現在の名称
北川村				北川村		南部町 (H18.1.1)
名久井村			名久井村			
向村			向村			
平良崎村			平良崎村			
地引村			地引村			
田部村			田部村			

**【田子町】**

明治22年市制町村制施行当時の名称	明治	大正	昭和元年～昭和28.9.30	昭和28.10.1（町村合併促進法施行時）の名称	昭和28.10.2～平18.3.31	現在の名称
田子村			田子町 (3.11.10)	田子町		田子町
上郷村				上郷村		

## 2 人口・面積の状況

### (1) 人口

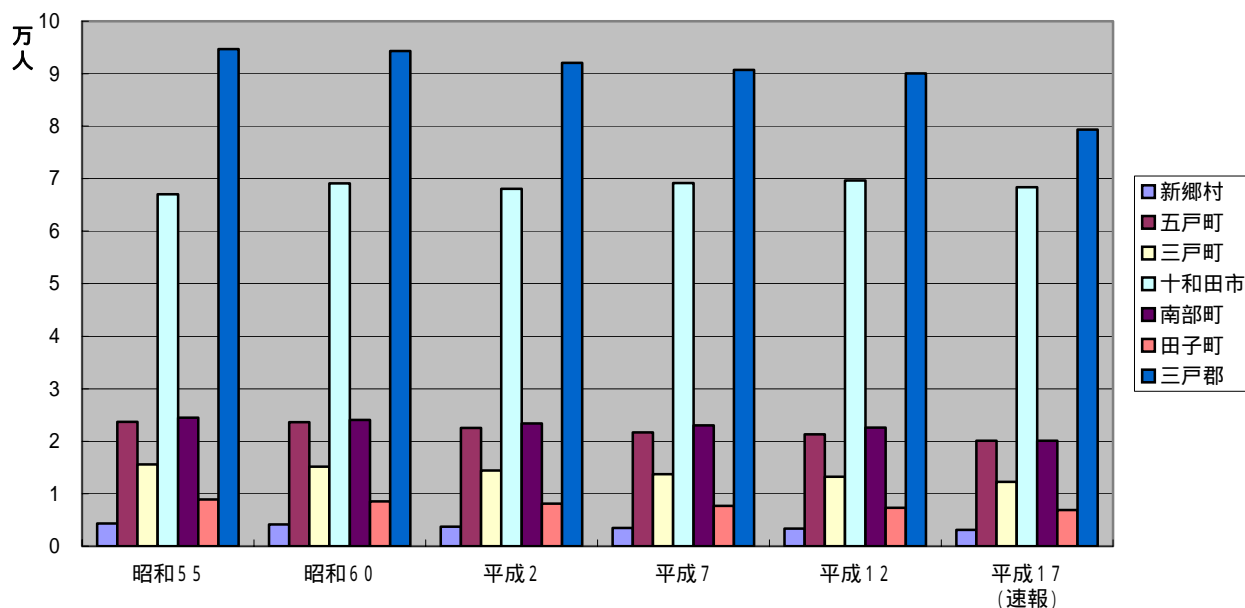
#### 総人口の推移

国勢調査結果を用いて、昭和55年人口と平成17年人口を比較すると、新郷村においては、27.6%の減少となっている。

同様の比較により、近隣市町村においては、十和田市で2.0%増加しているほかは、五戸町で15.1%減、三戸町で21.4%減、南部町で17.8%減、田子町で22.5%減となっている。

また、新郷村とこれら市町村の人口をそれぞれ合計すると、平成17年において、五戸町で17.0%減、三戸町で22.8%減、十和田市で0.2%増、南部町で19.3%減、田子町で24.2%減となる。

人口の推移



## 将来人口の推計

将来人口については、平成17年から平成42年までの推計によると、新郷村においては、33.0%減少することが予想され、昭和55年から比較すると約5割の人口となる見込みである。

同様の推計により、近隣市町村においては、五戸町で14.9%減、三戸町で28.8%減、十和田市で12.2%減、南部町で21.4%減、田子町で32.5%減といずれも減少することが予想される。

また、新郷村とこれら市町村の推計人口をそれぞれ合計すると、平成42年において、五戸町で17.3%減、三戸町で29.7%減、十和田市で13.1%減、南部町で22.9%減、田子町で32.7%減となることが予想される。

(これまでの人口の推移)

(単位:人,%)

	昭和55	昭和60	平成2	平成7	平成12	平成17 (速報)	増減率 (昭55~平17)
新郷村	4,332	4,134	3,724	3,498	3,343	3,135	27.6
五戸町	23,720	23,638	22,525	21,666	21,318	20,138	15.1
	28,052	27,772	26,249	25,164	24,661	23,273	17.0
三戸町	15,606	15,200	14,440	13,740	13,223	12,259	21.4
	19,938	19,334	18,164	17,238	16,566	15,394	22.8
十和田市	67,050	69,106	68,097	69,146	69,630	68,367	2.0
	71,382	73,240	71,821	72,644	72,973	71,502	0.2
南部町	24,495	24,053	23,383	23,041	22,596	20,138	17.8
	28,827	28,187	27,107	26,539	25,939	23,273	19.3
田子町	8,878	8,508	8,106	7,681	7,288	6,884	22.5
	13,210	12,642	11,830	11,179	10,631	10,019	24.2
三戸郡	94,668	94,341	92,063	90,758	90,074	79,324	4.9

\* 三戸郡H17には南郷村は入っていない。

資料: 国勢調査(総務省)

\* 「五戸町」に旧倉石村、「十和田市」に旧十和田湖町、「南部町」に旧名川町と旧福地村を含む。

\* 五戸町、三戸町、十和田市、南部町、田子町の下段数値は、新郷村との合計値。

\* 三戸郡増減率はS55~H12の期間の数値

(将来人口の推移)

(単位:人,%)

	平成17 (推計値)	平成22	平成27	平成32	平成37	平成42	増減率 (平17~平42)
新郷村	3,178	2,980	2,769	2,553	2,336	2,129	33.0
五戸町	20,995	20,554	20,091	19,479	18,716	17,867	14.9
	24,173	23,534	22,860	22,032	21,052	19,996	17.3
三戸町	12,734	12,116	11,390	10,632	9,844	9,065	28.8
	15,912	15,096	14,159	13,185	12,180	11,194	29.7
十和田市	69,937	69,523	68,324	66,586	64,244	61,410	12.2
	73,115	72,503	71,093	69,139	66,580	63,539	13.1
南部町	22,053	21,322	20,444	19,480	18,418	17,334	21.4
	25,231	24,302	23,213	22,033	20,754	19,463	22.9
田子町	6,893	6,461	6,008	5,544	5,081	4,652	32.5
	10,071	9,441	8,777	8,097	7,417	6,781	32.7
三戸郡	89,017	87,105	84,462	81,298	77,551	73,470	17.5

\* データの統一性を図るため、平成17は推計値を使用

資料: 将来人口推計(厚生労働省)

\* 五戸町、三戸町、十和田市、南部町、田子町の下段数値は、新郷村との合計値。

\* 将来人口の三戸郡には旧南郷村も含まれる。

## 世代別人口の推移

昭和55年から平成12年までの推移をみると、新郷村及び近隣市町村ともに、14歳以下の人口が大幅に減少している。また、新郷村においては、特に生産年齢人口（15歳以上64歳以下）が33.9%減少している点が顕著である。

### 世代別人口の推移

(単位:人、%)

		昭和55	昭和60	平成2	平成7	平成12	増減数 (昭55 平12)	増減率 (昭55 平12)
新郷村	0～14歳	967	855	663	526	408	559	57.8
	15～64歳	2,811	2,660	2,306	2,056	1,858	953	33.9
	65歳以上	554	619	755	916	1,077	523	94.4
五戸町	0～14歳	5,542	5,066	4,257	3,539	3,123	2,419	43.6
		6,509	5,921	4,920	4,065	3,531	2,978	45.8
	15～64歳	15,630	15,525	14,659	13,810	13,083	2,547	16.3
		18,441	18,185	16,965	15,866	14,941	3,500	19.0
	65歳以上	2,548	3,047	3,609	4,317	5,112	2,564	100.6
		3,102	3,666	4,364	5,233	6,189	3,087	99.5
三戸町	0～14歳	3,734	3,281	2,620	2,133	1,856	1,878	50.3
		4,701	4,136	3,283	2,659	2,264	2,437	51.8
	15～64歳	10,173	9,874	9,366	8,629	7,950	2,223	21.9
		12,984	12,534	11,672	10,685	9,808	3,176	24.5
	65歳以上	1,699	2,045	2,454	2,978	3,417	1,718	101.1
		2,253	2,664	3,209	3,894	4,494	2,241	99.5
十和田市	0～14歳	16,596	15,851	13,853	12,213	10,969	5,627	33.9
		17,563	16,706	14,516	12,739	11,377	6,186	35.2
	15～64歳	45,404	47,030	46,357	46,836	45,991	587	1.3
		48,215	49,690	48,663	48,892	47,849	366	0.8
	65歳以上	5,050	6,224	7,886	10,097	12,670	7,620	150.9
		5,604	6,843	8,641	11,013	13,747	8,143	145.3
南部町	0～14歳	5,805	5,150	4,380	3,908	3,436	2,369	40.8
		6,772	6,005	5,043	4,434	3,844	2,928	43.2
	15～64歳	16,145	15,808	15,177	14,414	13,618	2,527	15.7
		18,956	18,468	17,483	16,470	15,476	3,480	18.4
	65歳以上	2,545	3,095	3,822	4,719	5,529	2,984	117.2
		3,099	3,714	4,577	5,635	6,606	3,507	113.2
田子町	0～14歳	2,083	1,779	1,506	1,262	1,069	1,014	48.7
		3,050	2,634	2,169	1,788	1,477	1,573	51.6
	15～64歳	5,769	5,550	5,164	4,741	4,247	1,522	26.4
		8,580	8,210	7,470	6,797	6,105	2,475	28.8
	65歳以上	1,026	1,179	1,436	1,678	1,970	944	92.0
		1,580	1,798	2,191	2,594	3,047	1,467	92.8
(参考) 三戸郡	0～14歳	22,514	20,432	17,445	15,050	13,341	9,173	40.7
	15～64歳	62,077	61,935	59,919	57,770	55,519	6,558	10.6
	65歳以上	10,077	11,974	14,685	17,938	21,193	11,116	110.3

\* 五戸町、三戸町、十和田市、南部町、田子町の下端数値は、新郷村との合計値。

\* 「五戸町」に旧倉石村、「十和田市」に旧十和田湖町、「南部町」に旧名川町と旧福地村を含む。

## (2) 世帯数

昭和55年から平成12年までの推移をみると、新郷村で9.3%、田子町で2.6%世帯数が減少しているが、これは、全体的に世帯の小規模化が進み世帯数が増加傾向にある中、新郷村と田子町においては急激な人口減少が進んでいることによるものと考えられる。

世帯数の推移

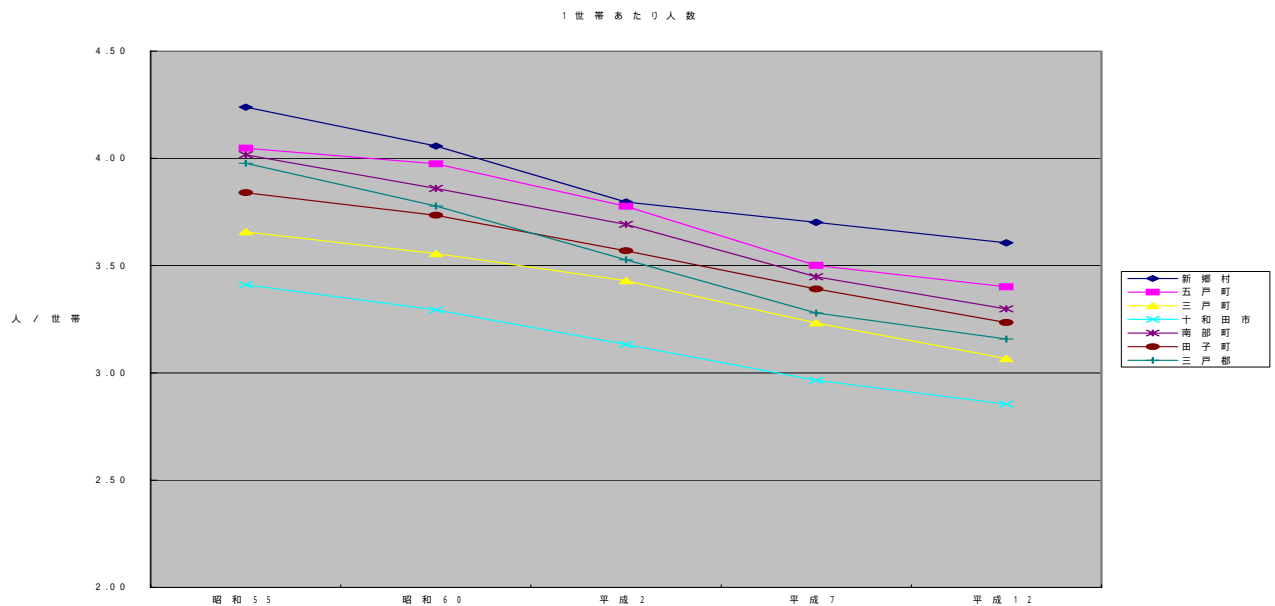
(単位:世帯、%)

	昭和55	昭和60	平成2	平成7	平成12	増減率 (S55~H12)
新郷村	1,022	1,019	981	945	927	9.3
五戸町	5,861	5,948	5,965	6,189	6,268	6.9
	6,883	6,967	6,946	7,134	7,195	4.5
三戸町	4,267	4,275	4,211	4,250	4,312	1.1
	5,289	5,294	5,192	5,195	5,239	0.9
十和田市	19,657	20,983	21,743	23,320	24,395	24.1
	20,679	22,002	22,724	24,265	25,322	22.5
南部町	6,098	6,232	6,333	6,683	6,851	12.3
	7,120	7,251	7,314	7,628	7,778	9.2
田子町	2,312	2,278	2,271	2,265	2,253	2.6
	3,334	3,297	3,252	3,210	3,180	4.6
(参考)三戸郡	23,806	24,975	26,101	27,676	28,524	19.8

資料:国勢調査(平成12年)

\* 五戸町、三戸町、十和田市、南部町、田子町の下段数値は、新郷村との合計値。

\* 「五戸町」に旧倉石村、「十和田市」に旧十和田湖町、「南部町」に旧名川町と旧福地村を含む。



### (3) 昼夜間人口

新郷村においては、夜間人口（常住人口）より昼間人口が少なくなっているが、93.7%の昼間人口比であり、際立った流出超過にはなっていない。

昼間人口比は、近隣市町村においては、十和田市で101.0%（流入超過）、三戸町で100.1%（昼間人口がほぼ同数）のほか、五戸町89.7%、南部町87.9%、田子町95.1%と、90%前後の昼間人口比（流出超過）となっている。

昼夜間人口及び昼夜間人口比

(単位:人%)

	夜間人口	昼間人口	昼間人口比
新郷村	3,343	3,131	93.7
五戸町	21,318	19,131	89.7
	24,661	22,262	90.3
三戸町	13,223	13,237	100.1
	16,566	16,368	98.8
十和田市	69,630	70,326	101.0
	72,973	73,457	100.7
南部町	22,596	19,662	87.0
	25,939	22,793	87.9
田子町	7,286	6,931	95.1
	10,629	10,062	94.7
(参考)三戸郡計	90,074	78,702	87.4

資料:国勢調査(平成12年)

\*「五戸町」には旧倉石村、「十和田市」には旧十和田湖町、「南部町」には旧名川町と旧福地村が含まれる。

\*五戸町、三戸町、十和田市、南部町、田子町の下段数値は、新郷村との合計値。

### (4) 面積・人口密度

面積及び人口密度の状況

	人口	総面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
新郷村	3,343	150.85	22.2
五戸町	21,318	177.82	119.9
	24,661	328.67	75.0
三戸町	13,223	151.55	87.3
	16,566	302.40	54.8
十和田市	69,630	688.60	101.1
	72,973	839.45	86.9
南部町	22,596	153.21	147.5
	25,939	304.06	85.3
田子町	7,286	242.00	30.1
	10,629	392.85	27.1
(参考)三戸郡計	90,074	1,060.53	84.9

資料:国勢調査(平成12年)

\*「五戸町」には旧倉石村、「十和田市」には旧十和田湖町、「南部町」には旧名川町と旧福地村が含まれる。

\*五戸町、三戸町、十和田市、南部町、田子町の下段数値は、新郷村との合計値。



### 3 日常生活圏の状況

#### (1) 交通

新郷村と近隣市町村との交通事情は、次のとおりである。

##### \* 新郷村からの交通概況

	五戸町	三戸町	十和田市	南部町	田子町
主要幹線	国道 454 号	県道十和田三戸線	国道 454 号 - 国道 4 号 戸来 ~ 十和田線	県道十和田三戸線 - 国道 4 号	県道十和田三戸線 - 国道 4 号 - 国道 104 号
車による所要時間	20分	30分	40分	40分	50分
公共交通機関	南部バス (平日 11 往復) (土 10.5 往復) (休日 8 往復)	南部バス (直接乗入路線なし、八戸経由で五戸 新郷)	南部バス (平日 3 往復) (休日運行なし)	南部バス (直接乗入路線なし、八戸経由で五戸 新郷)	南部バス (直接乗入路線なし、八戸経由で五戸 新郷)

(2) 常住者の通勤・通学先市町村

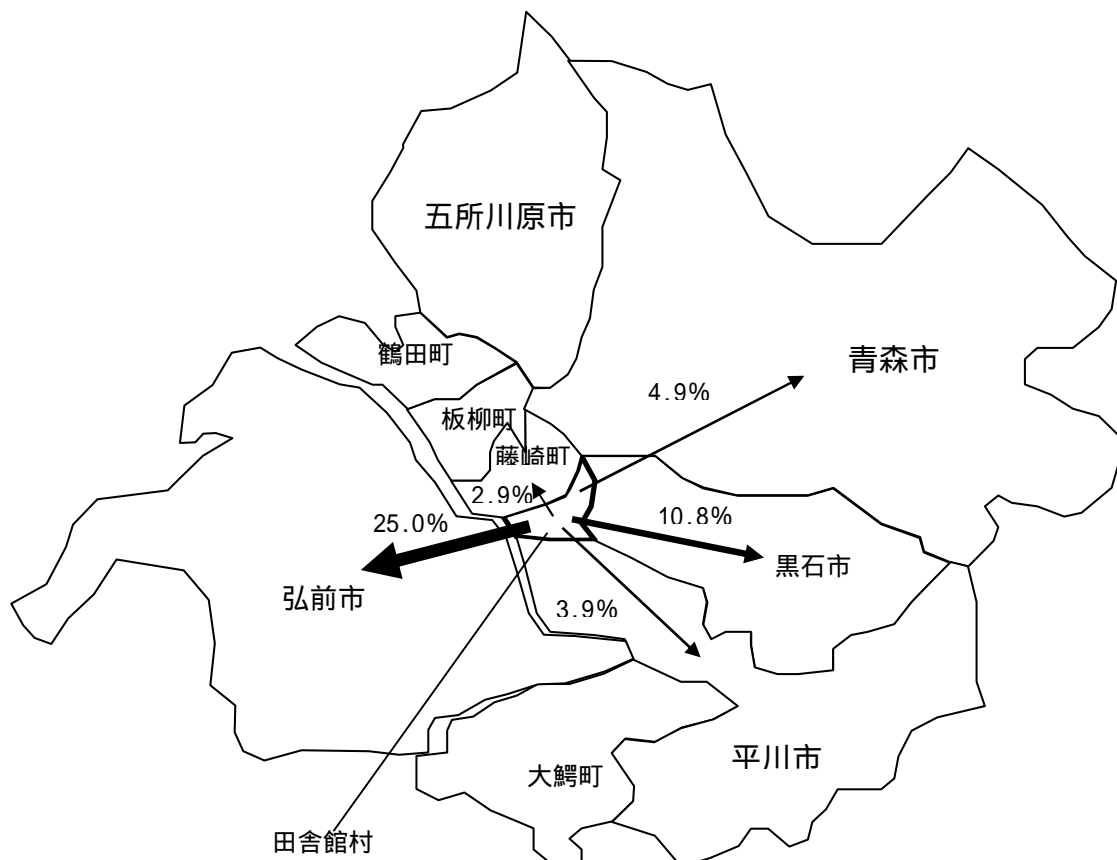
通勤

田舎館村に常住する就業者のうち、50.2%が村外で従業しており、この構成比は、弘前市25.0%、黒石市10.8%、平川市3.95%、藤崎町2.9%等となっている。

	総数	構成比	(参考) 男	(参考) 女
田舎館村に常住する就業者	4,718	100.0%	2,526	2,192
自市町村で従業	2,348	49.8%	1,186	1,162
他市町村で従業	2,370	50.2%	1,340	1,030
弘前市	1,180	25.0%	678	502
(旧弘前市)	1,161	24.6%	668	493
(旧岩木町)	19	0.4%	10	9
黒石市	508	10.8%	233	275
青森市	229	4.9%	171	58
(旧青森市)	145	3.1%	116	29
(旧浪岡町)	84	1.8%	55	29
平川市	182	3.9%	98	84
(旧尾上町)	99	2.1%	45	54
(旧平賀町)	83	1.8%	53	30
藤崎町	135	2.9%	59	76
(旧藤崎町)	84	1.8%	39	45
(旧常盤村)	51	1.1%	20	31
大鰐町	25	0.5%	17	8
板柳町	23	0.5%	13	10
五所川原市	22	0.5%	17	5

(資料) 国勢調査(平成12年)

従業・通学先の市町村への就業者・通学者数の計が10人以上対象



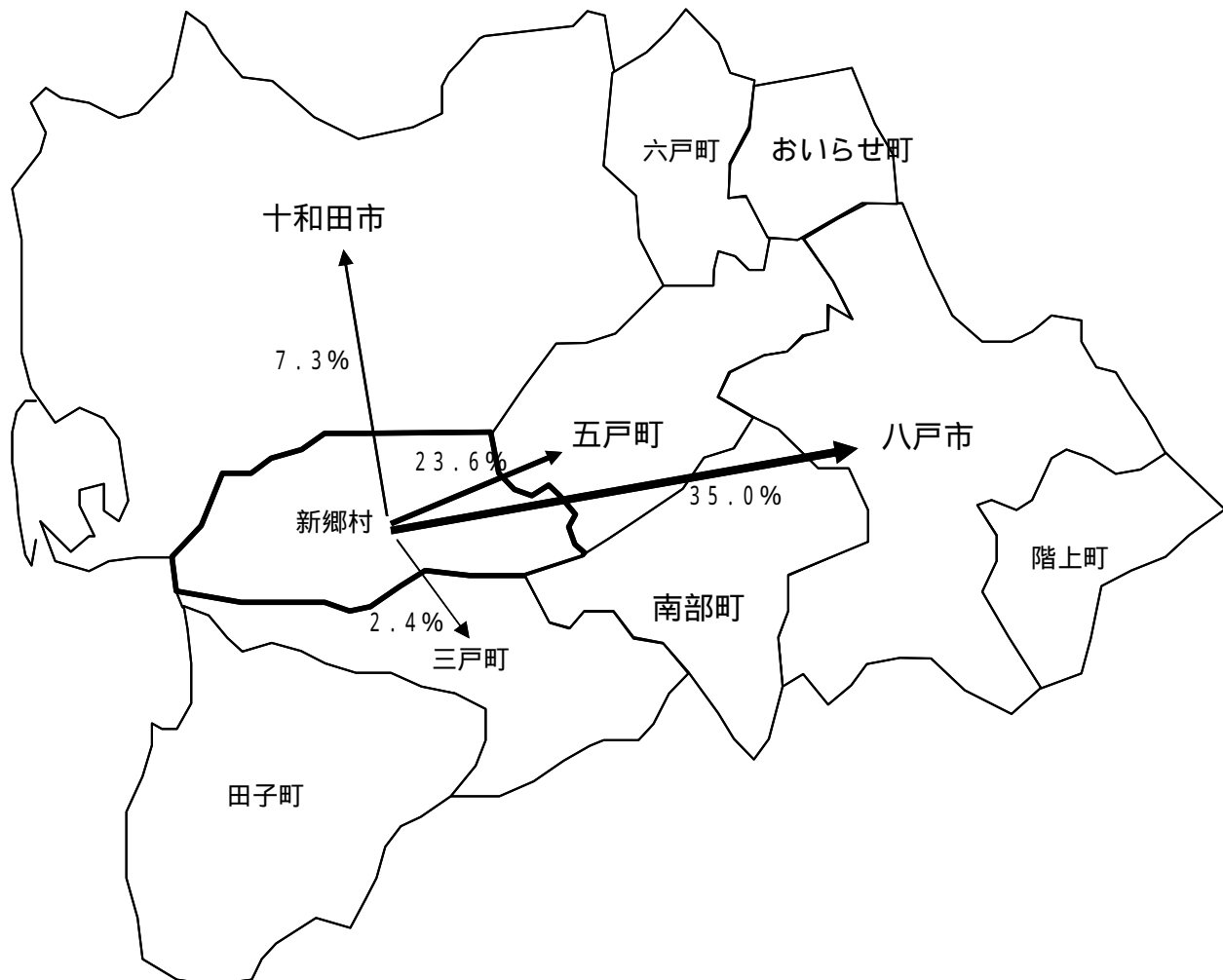
## 通学

新郷村に常住する15歳以上の通学者のうち、74.0%が村外で通学しており、この構成比は、八戸市35.0%、五戸町23.6%、十和田市7.3%、三戸町2.4%等となっている。

	15歳以上通学者		(参考) 15歳未満通学者を含む通学者	
	総数	構成比	総数	構成比
新郷村に常住する通学者	123	100.0%	392	100.0%
自市町村で通学	32	26.0%	301	76.8%
他市町村で通学	91	74.0%	91	23.2%
八戸市	43	35.0%	43	11.0%
五戸町	29	23.6%	29	7.4%
(旧五戸町)	29	23.6%	29	7.4%
(旧倉石村)	-	-	-	-
十和田市	9	7.3%	9	2.3%
三戸町	3	2.4%	3	0.8%
その他の市町村	6	4.9%	6	1.5%
その他の都道府県	1	0.8%	1	0.3%

(資料) 国勢調査(平成12年)

従業・通学先の市町村への就業者・通学者数の計が10人以上対象



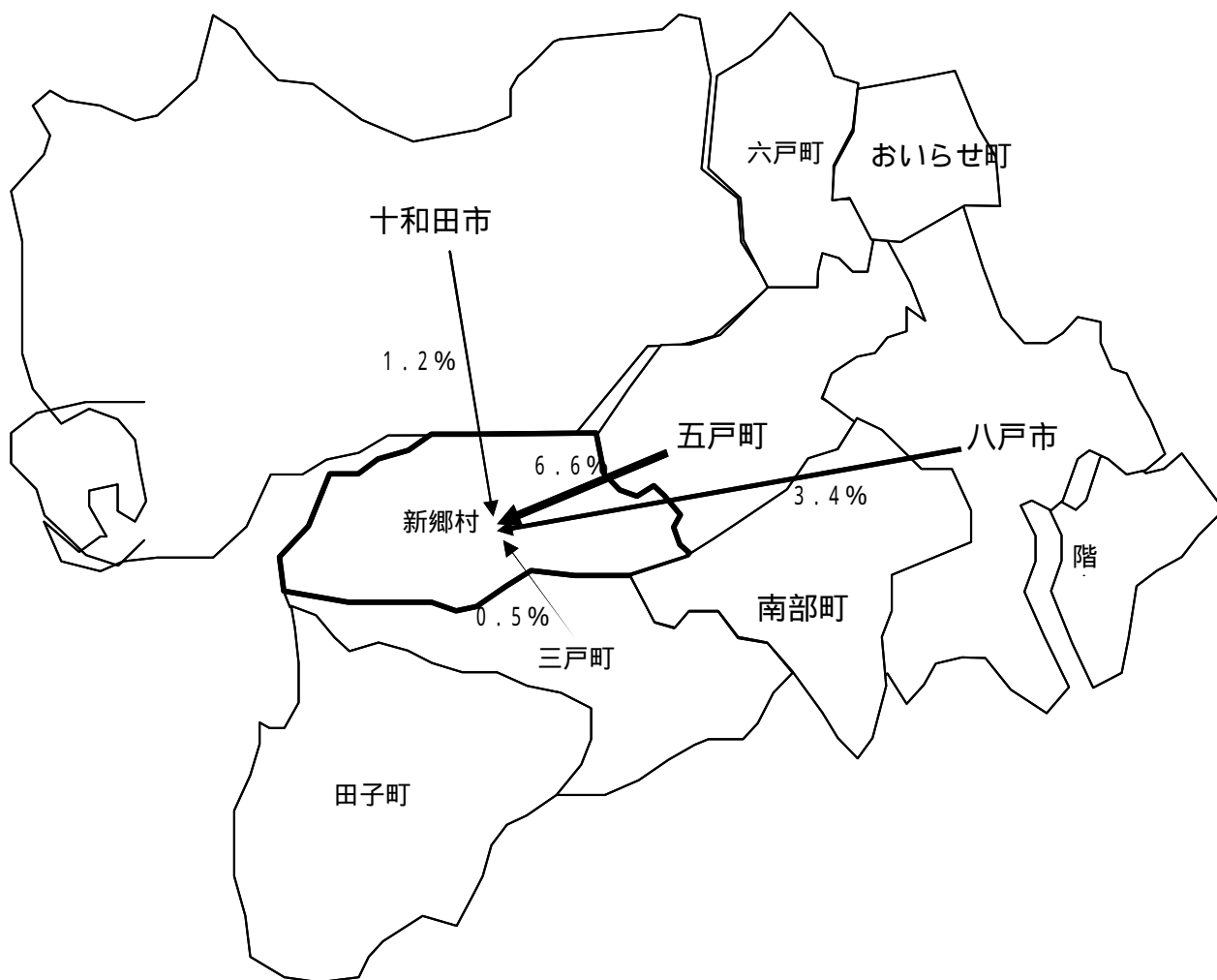
### (3) 従業者・通勤者の常住市町村

#### 通勤

新郷村で従業する者のうち、12.8%が村外からの通勤者となっており、この構成比は、五戸町で6.6%、八戸市で3.4%、十和田市で1.2%、三戸町で0.5%等となっている。

	総数	構成比	(参考) 男	(参考) 女
新郷村で従業する者	1,869	100.0%	1,020	849
自市町村に常住	1,629	87.2%	865	764
他市町村に常住	240	12.8%	155	85
五戸町	124	6.6%	69	55
（旧五戸町）	75	4.0%	40	35
（旧倉石村）	49	2.6%	29	20
八戸市	63	3.4%	46	17
十和田市	22	1.2%	15	7
三戸町	10	0.5%	8	2
その他の市町村	16	0.9%	13	3
その他の都道府県	5	0.3%	4	1

(資料) 国勢調査(平成12年)  
 従業・通学先の市町村への就業者・通学者数の計が10人以上対象



## 通学

新郷村で通学する15歳以上の者のうち、5.9%が村外（八戸市）からの通学者となっている。

	15歳以上通学者		（参考）15歳未満通学者を含む通学者	
	総数	構成比	総数	構成比
新郷村で通学する者	34	100.0%	309	100.0%
自市町村に常住	32	94.1%	301	97.4%
他市町村に常住	2	5.9%	8	2.6%
八戸市	2	5.9%	2	0.6%
十和田市	-	-	-	-
三戸町	-	-	6	1.9%
五戸町	-	-	-	-
（旧五戸町）	-	-	-	-
（旧倉石村）	-	-	-	-
その他の市町村	-	-	-	-
その他の都道府県	-	-	-	-

（資料）国勢調査（平成12年）

従業・通学先の市町村への就業者・通学者数の計が10人以上対象



#### (4) 購買動向

食料品などの買い物は、大部分(95.1%)が村外で行われており、この構成比は、八戸市50.6%、十和田市20.4%、五戸町8.3%、三戸町4.3%等となっている。

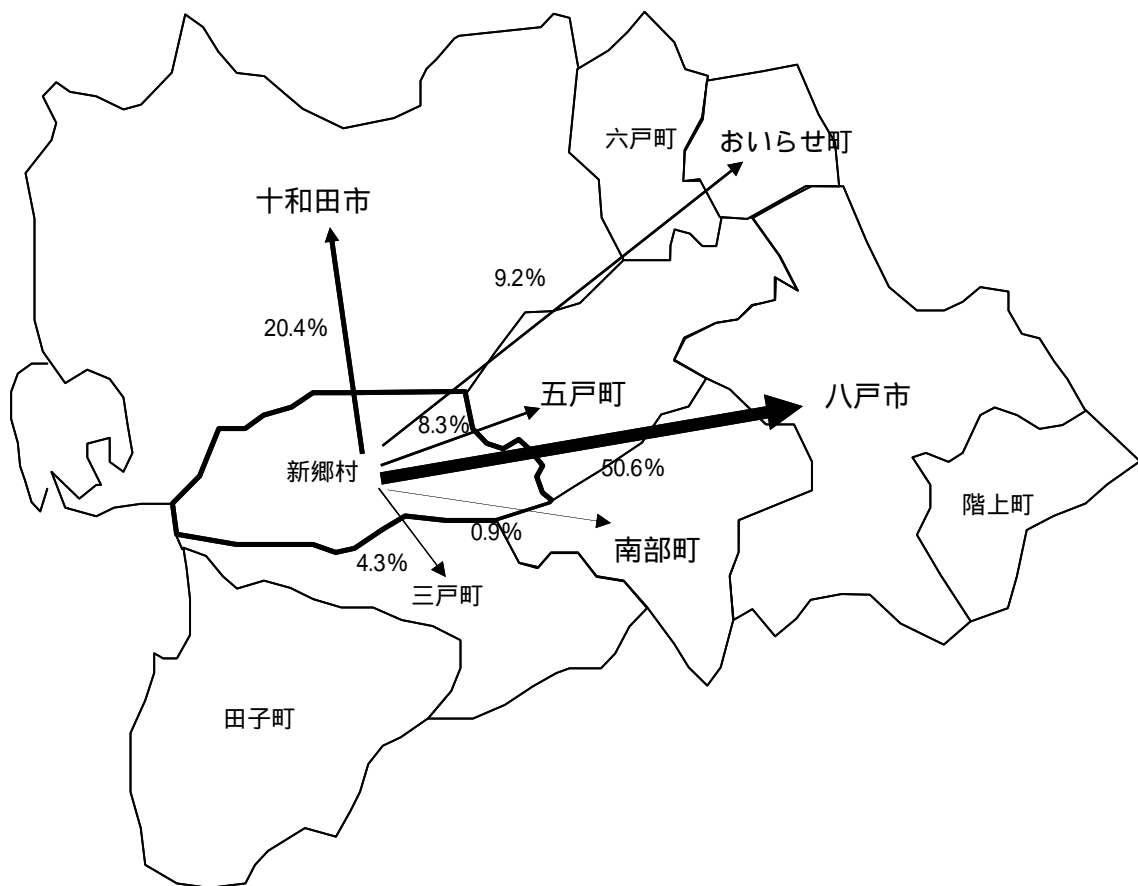
#### 新郷村常住者の購買先市町村の状況

(単位 %)

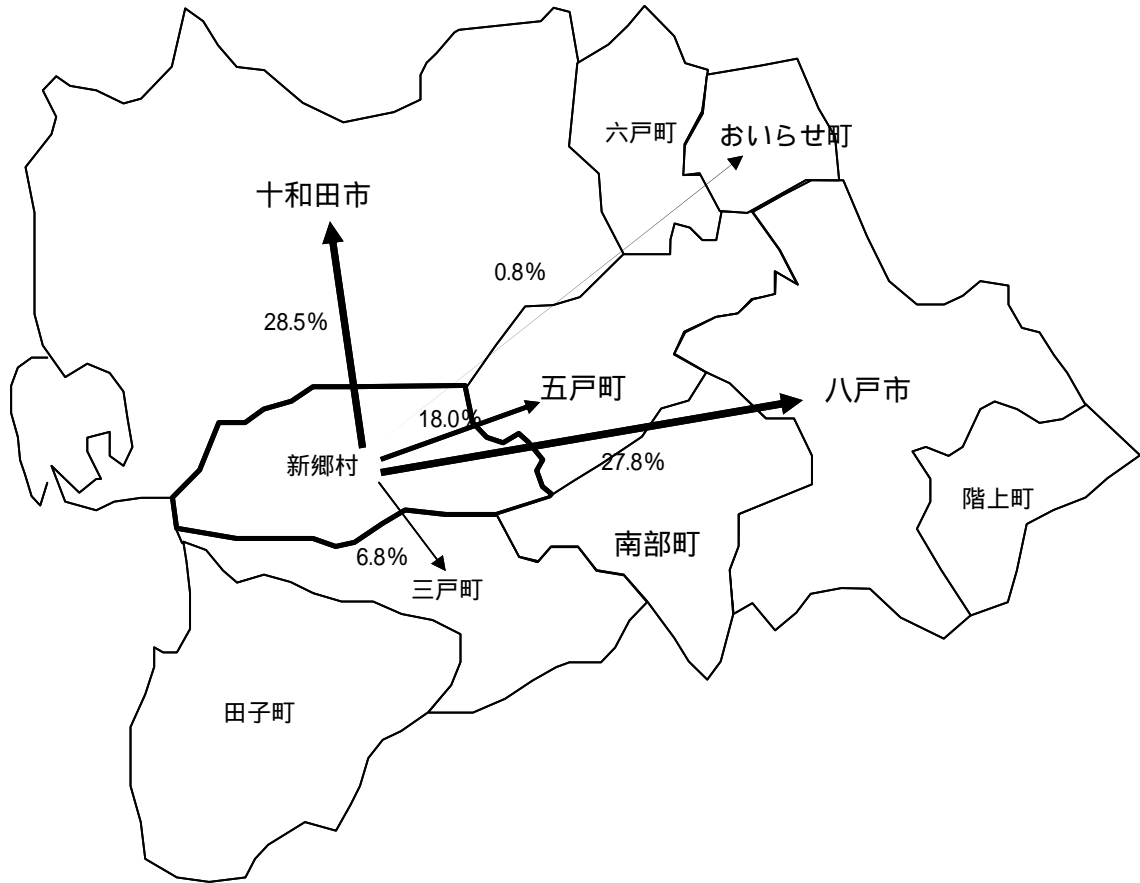
	食料品	見回品・雑貨	衣料品	生活用品	家族連れ外食	合計
自市町村内	17.3	2.3	1.2	2.3	2.4	4.9
八戸市	27.8	52.5	59.9	52.4	69.0	50.6
十和田市	28.5	18.8	18.8	18.3	16.7	20.4
下田町	0.8	9.8	15.9	9.1	7.1	9.2
五戸町	18.0	7.5	0.6	10.5	0.0	8.3
三戸町	6.8	4.5	1.8	4.6	4.8	4.3
南部町	0.0	0.8	0.0	2.3	0.0	0.9
二戸市	0.0	0.0	1.8	0.5	0.0	0.6
その他	0.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.8

(資料) 青森県、青森県商工会議所連合会、青森県商工会連合会「消費購買動向による商圏調査報告書(平成15年度)」

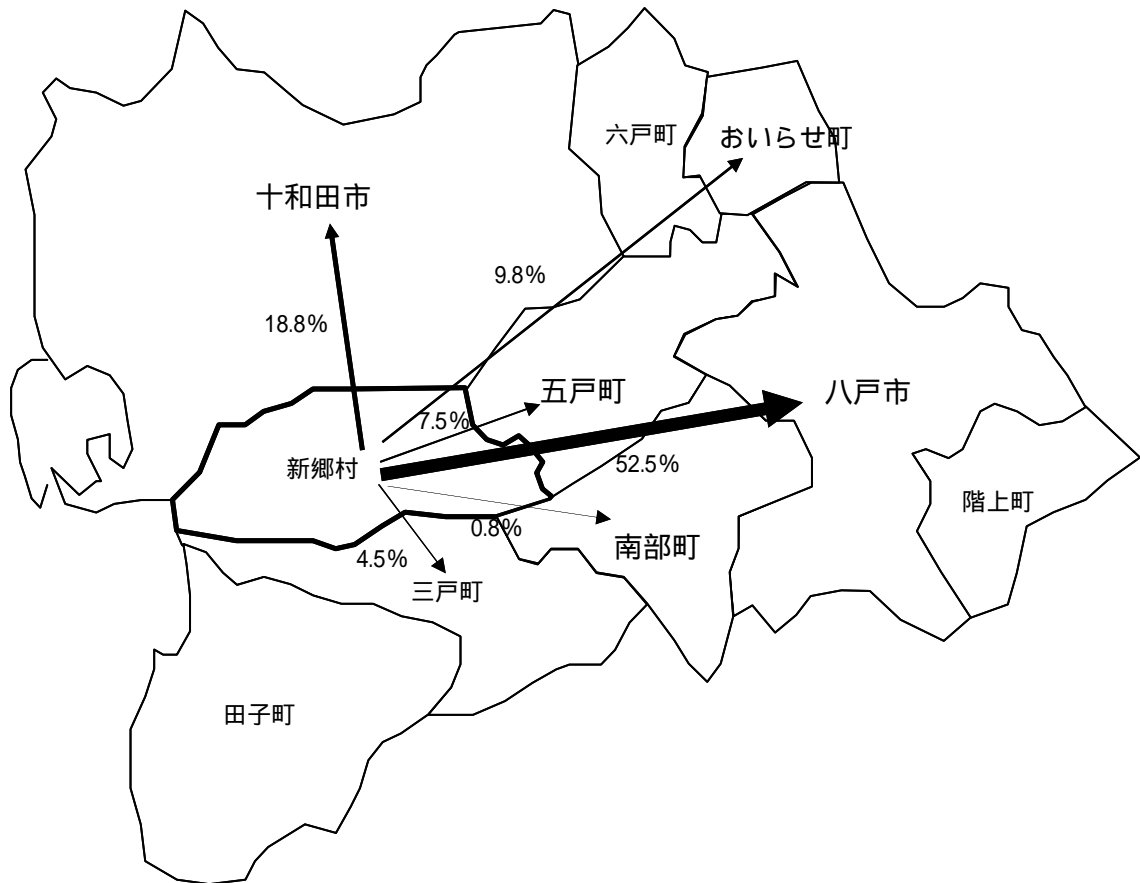
#### 購買先市町村(全体)



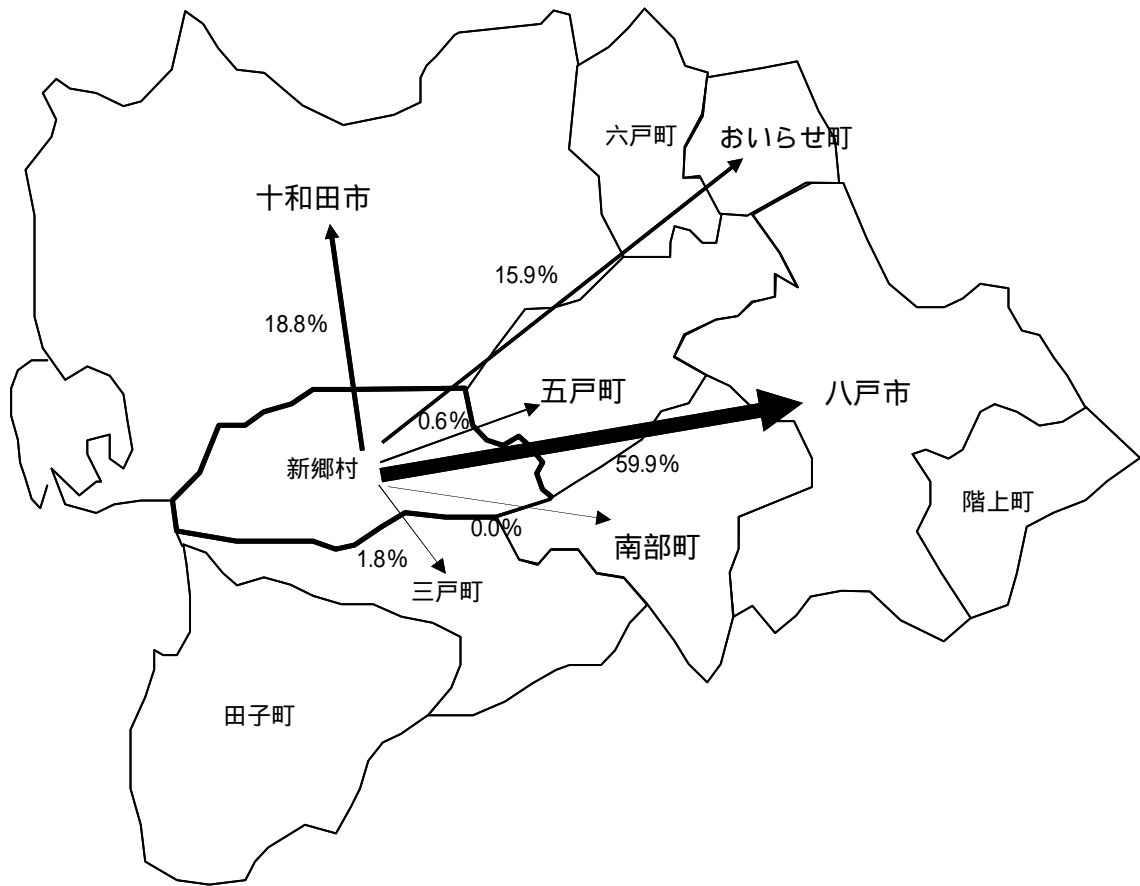
購買先市町村（食料品）



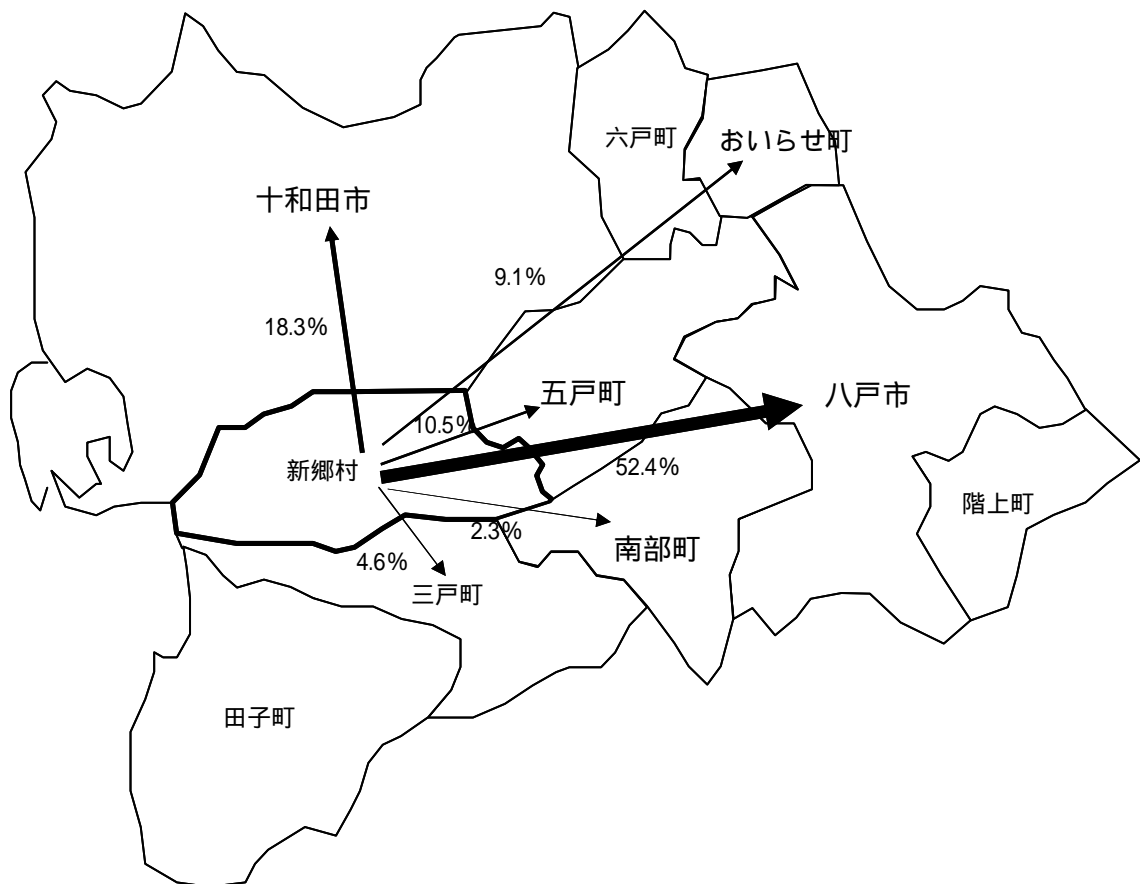
購買先市町村（身回品・雑貨）



購買先市町村（衣料品）

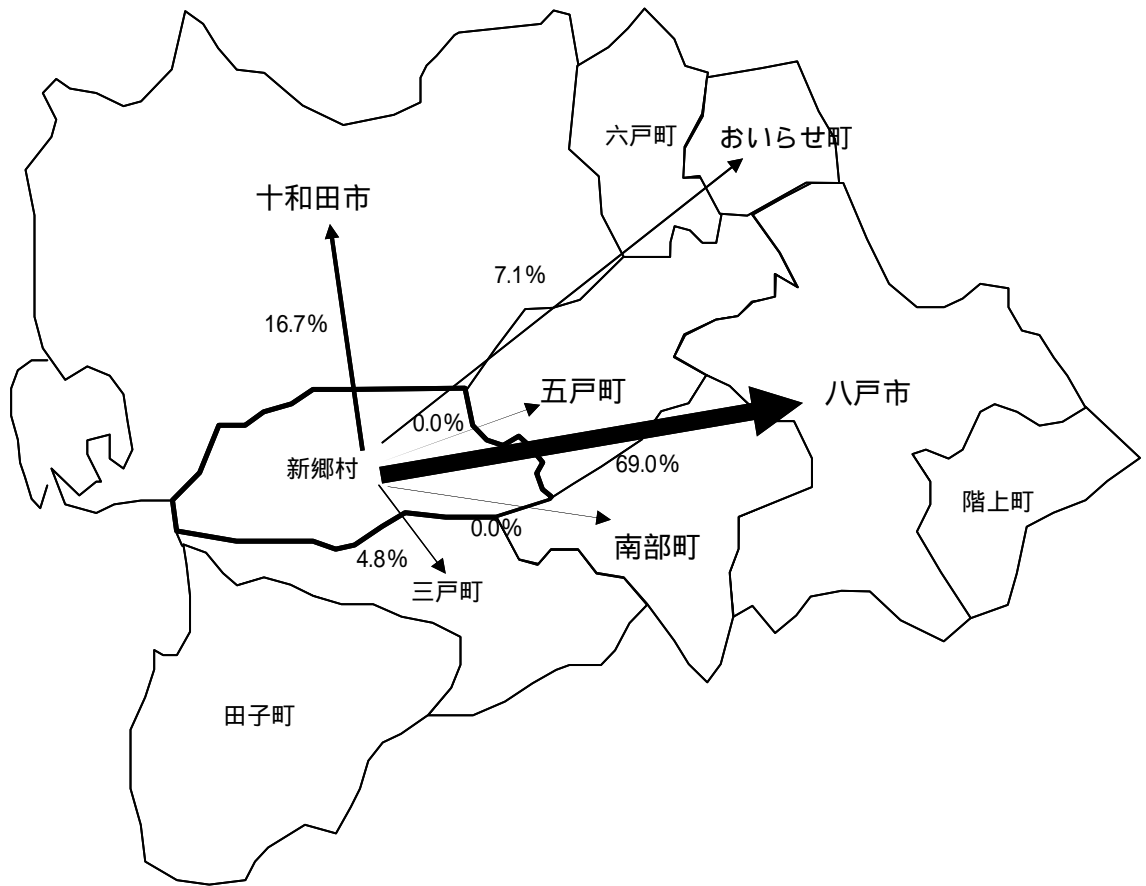


購買先市町村（生活用品）





購買先市町村（家族連れ外食）



( 5 ) 受診動向 ( 病院 )

通院、入院ともに100%村外に依存しており、この構成比は、通院については、五戸町63.4%、八戸市18.3%、十和田市7.5%、三戸町2.2%等、入院については、五戸町48.6%、八戸市37.1%、十和田市14.3%となっている。

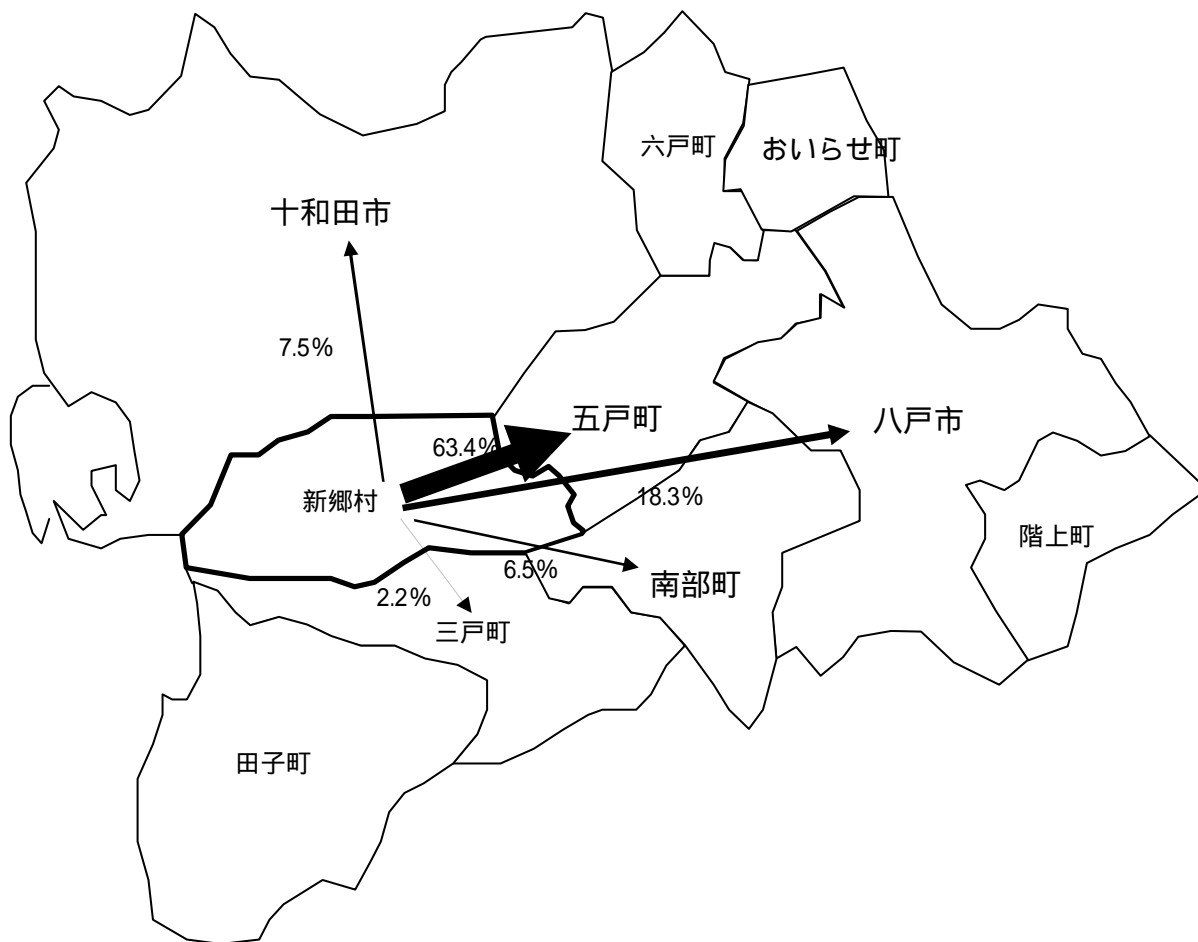
新郷村常住者の受診先市町村の動向 ( 通院、入院別 )

( 単位 % )

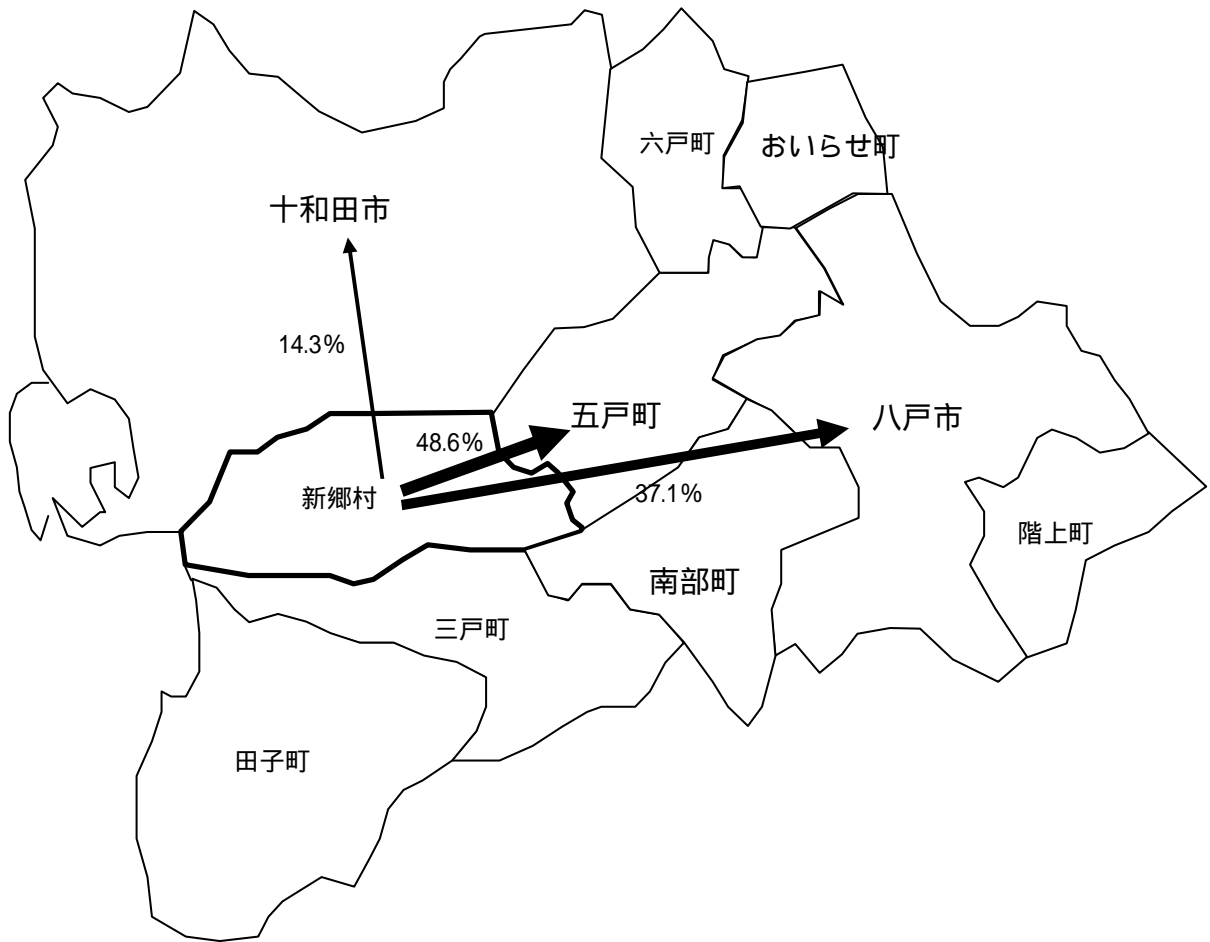
患者の住所	通院	入院
新郷村	-	-
五戸町	63.4	48.6
八戸市	18.3	37.1
十和田市	7.5	14.3
南部町	6.5	-
三戸町	2.2	-
青森市	2.2	-
合計	100.0	100.0

( 資料 ) 県「青森県受療動向調査 ( 平成13年 ) 」

医療依存度の状況 ( 通院 )



# 医療依存度の状況（入院）



#### 4 産業構造（産業別人口）

新郷村の産業別人口は、第1次産業従事者が46.6%と50%近い割合となっており、第1次産業（農林業）主体の産業構造といえる。

産業別人口の比較

(単位:人、%)

	国勢調査(平成12年)		新郷村との合計値	
	就業人口	構成比	就業人口	構成比
新郷村	2,082	-	-	-
第1次産業従事者	971	46.6%	-	-
第2次産業従事者	474	22.8%	-	-
第3次産業従事者	637	30.6%	-	-
五戸町	11,377	-	13,459	-
第1次産業従事者	2,742	24.1%	3,713	27.6%
第2次産業従事者	3,693	32.5%	4,167	31.0%
第3次産業従事者	4,942	43.4%	5,579	41.5%
三戸町	7,015	-	9,097	-
第1次産業従事者	2,163	30.8%	3,134	34.5%
第2次産業従事者	1,769	25.2%	2,243	24.7%
第3次産業従事者	3,083	43.9%	3,720	40.9%
十和田市	36,163	-	38,245	-
第1次産業従事者	5,133	14.2%	6,104	16.0%
第2次産業従事者	9,919	27.4%	10,393	27.2%
第3次産業従事者	21,111	58.4%	21,748	56.9%
南部町	9,747	-	11,829	-
第1次産業従事者	2,290	23.5%	3,261	27.6%
第2次産業従事者	2,503	25.7%	2,977	25.2%
第3次産業従事者	4,954	50.8%	5,591	47.3%
田子町	4,142	-	6,224	-
第1次産業従事者	1,629	39.3%	2,600	41.8%
第2次産業従事者	1,052	25.4%	1,526	24.5%
第3次産業従事者	1,461	35.3%	2,098	33.7%
(参考)三戸郡計	46,477	-	-	-
第1次産業従事者	12,726	27.4%	-	-
第2次産業従事者	13,840	29.8%	-	-
第3次産業従事者	19,911	42.8%	-	-

資料:国勢調査(平成12年)

\*「五戸町」には旧倉石村、「十和田市」には旧十和田湖町、「南部町」には旧名川町と旧福地村が含まれる

## 5 広域行政の状況

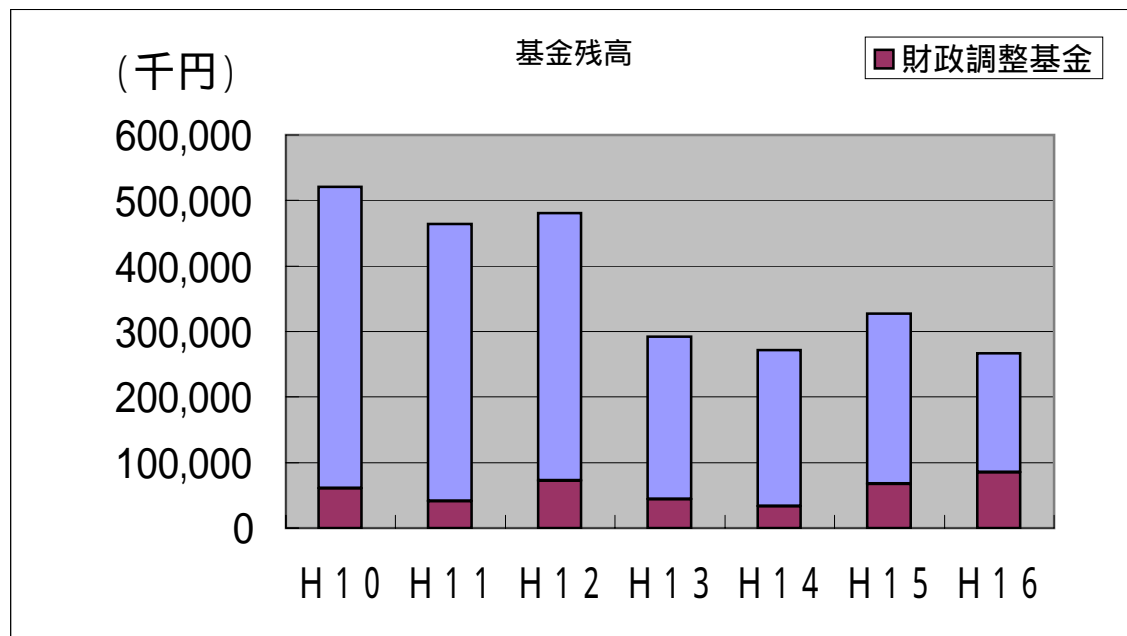
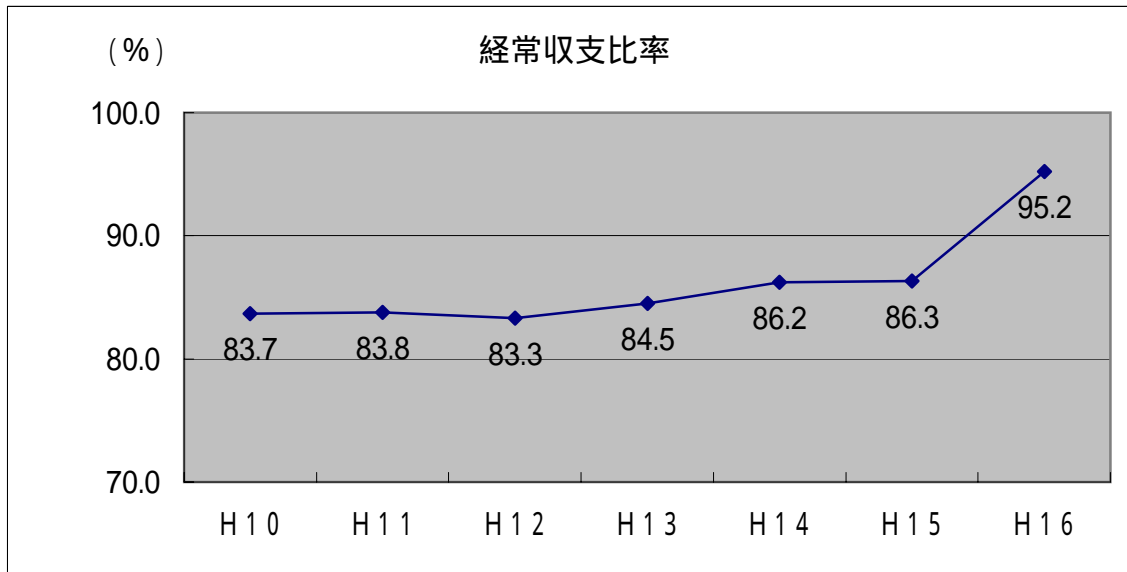
新郷村では、五戸町のほか近隣市町村との間で、次に掲げるような事務の共同処理を通じた広域行政を展開している。

共同処理事務	新郷村	五戸町	三戸町	十和田市	南部町	共同処理組織
消防						:八戸地域広域市町村圏事務組合 :十和田地域広域事務組合
ごみ処理					(福地以外) (福地)	:十和田地域広域事務組合 :三戸地区塵芥処理事務組合 :八戸地域広域市町村圏事務組合
し尿処理					(福地以外) (福地)	:十和田地区環境整備事務組合 :三戸地区環境整備事務組合 :八戸地域広域市町村圏事務組合
老人福祉 (特別養護老人ホーム)						:八戸地域広域市町村圏事務組合
障害福祉 (知的障害者施設)						:三戸郡福祉事務組合 :上北地方教育・福祉事務組合
介護保険認定						:八戸地域広域市町村圏事務組合 :上北地方教育・福祉事務組合
視聴覚ライブラリーの設置運営						:三八視聴覚教育協議会 :上北地方教育・福祉事務組合

一部事務組合のうち、全県的なものは除いて整理している。

## 財政状況(新郷村)

### 1 財政指標



### 2 行財政改革の取組状況

職員中心に行革大綱を検討し、昨年給料カット等の行革を実施し、一般財源1億3千万円の経費の節減に努めて来た。

しかし、経費節減のみでは限度がある。議員定数、財産区議員等の削減、職員数、役場の機構改革等全般にわたり更に検討の余地あり。